

科目名	英語		英文表記	English		22年3月
教員名	角田キャティ、新川智清、Newell, Timothy					作成
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全クラス	2年	必修	履修	3単位	演習	通年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・易しい英文を大量によむ多読学習法によって英語の基礎力を確実に定着させ、YL(読みやすさレベル)1.4程度の図書を読めるようにする。</li> <li>・基礎的な英文法学習を導入し、多読と併せて TOEIC Bridge の Reading 部門に対応できる基礎的読解力を身につける。</li> <li>・授業中に前期は7千語以上、後期は週9千語以上を読むようにする。</li> </ul>					
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	
	◎	○	○		JABEE プログラム教育目標	
授 業 概 要、 方 針、 履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読むレベルが違うそれぞれの学生に対応できる様々なジャンルやレベルの多読教材を準備し、授業内外で英文多読を継続できるよう個人指導する。</li> <li>・基礎的な英文法の学習により、その定着をはかる。</li> </ul>					
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 25%×2=50% ・外部試験(TOEIC Bridge IP-Reading) 25%</li> <li>・文法小テスト 15% ・読書総語数及び内容 10%</li> </ul>					
教科書・教材	『めざせ100万語 読書記録手帳』(SSS 英語学習法研究会) ・ <i>Basic Grammar in Use</i> ・ 多読図書教材-Oxford Reading Tree, Longman Literacy Land, Oxford Bookworms, Penguin Readers, Cambridge English Readers, Macmillan Readers など					
参 考 図 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『今日から読みます英語100万語』(日本実業出版)</li> <li>・『英語多読完全ブックガイド』(コスモピア株式会社)</li> </ul> (他にも参考図書を探す場合のキーワード :SSS 英語学習法研究会 : <a href="http://www.seg.co.jp/ss">http://www.seg.co.jp/ss</a> )					
<b>授 業 計 画</b>						
授 業 項 目	時間	授 業 内 容				
本科目の概要説明	2	授業の概要や進め方、到達目標及び評価法等について説明する。				
多読教材を用いた各自の学習	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読三原則を再確認し、一年で到達したレベルより低いレベルから読み始める。</li> <li>・一年間の多読を経験し、多読をある程度体得した学生と、総語数1000語以上の教材を読むことに抵抗がある学生の相違に注意する。読むレベルが上がらない学習者には頻りに読書指導を行う。多読法がほぼ身についた学習者には、さらに多様な図書を紹介すると同時に、無理なレベル上げを避けて、チャンプルー読みをするよう勧める。</li> <li>・YL1.4程度の英文を日本語を介さずに毎分90語程度で40分以上継続して読めるようにする。</li> <li>・読んだ本については、読書記録手帳に、総語数、YL(読みやすさレベル)、シリーズ名、感想を記録する。</li> </ul>				
前期末試験	[1]					
多読教材を用いた各自の学習	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み中の多読の中断を考慮して、前期より一段下のレベルの多読図書から読み始める。</li> <li>・一分間に読む語数を100語前後とし、それ以下の場合には、レベルを上げすぎているか個人指導を行う。</li> <li>・後期は <i>Basic Grammar in Use</i> を用いて文法の学習をする。週に1度3Units ずつ小テストを実施する。</li> </ul>				
学年末試験	[1]					
学習時間合計	90	実時間		75		